

## XD Exhibition 2014

申請：環境情報学部 2年 室屋華緒

指導教員：笥康明

### 実施概要

展示会名：XD Exhibition 2014

会期：3/1-3/2

時間 両日 10:00～19:00

会場 二子玉川ライズ・オフィス：1階エントランス、6階スカイロビー、8階カタリストBA

主催 XD Exhibition 実行委員会

学生代表 中垣拳 教員代表 笥康明

後援 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科エクス・デザイン（XD）プログラム

協力 クリエイティブ・シティ・コンソーシアム

カタリストBA

東京急行電鉄株式会社

ホームページ <http://xd.sfc.keio.ac.jp/xd2014/>

### 目的

6度目のXD Exhibitionの開催となる本年度は、光学系の専門用語である“結像”という言葉にテーマを設けた。“レンズや鏡を通して像を得ること”を表すこの言葉に、二つの意味を込めた。一つは、多様なバックグラウンドを持つ学生が様々な領域とのつながりの中に結んだ、像としての作品という意味。

もう一つは、本展のご来場のみなさんに、それぞれの作品が見せる視点やビジョンに触れることで、新たな像を結んでもらいたいという期待も込めた意味。

作品展示を中心に、トークセッション、ワークショップやドキュメンタリー作品の上映、ライブパフォーマンスまで多様なイベントも開催した。本展を通して、出展者だけでなく来場者も、身の回りのモノへの視点から未来へのビジョンまで、様々な像を“くらべて・かさねて・むすぶ”ような場とすることを目指した。

複数の研究室合同で展示会を開催することによって、他研究室との交流の場や、当展示会を通してSFCにおけるデザイン活動、トークセッションではデザインの意味を知ってもらう機会を提供する。

## 当日のプログラム

### 3月1日（土）

1) トークセッション「デザイン教育のこれから」

(加藤文俊、 田川欣哉、 寛裕介)

2) トークセッション「アートとテクノロジーの交差点～新たな表現の開拓～」

(寛康明、 真鍋大度)

### 3月2日（日）

1) トークセッション「公共空間のデザイン」

(水野大二郎、 猪熊純、 渋谷宗彦)

2) トークセッション「編集することとデザインすること」

(山中俊治、 佐渡島庸平)

## 結果と今後の展望

今年度は、展覧会自体に一貫したテーマを設けることで、全体のデザインや装飾、広報などのディレクションがしやすかった。来場者全員に、虫眼鏡を配布し、通常の展示作品以外にも、会場で虫眼鏡を使って「結像」を体感できるしかけも点在させ、気付いた来場者には好評だった。

本展覧会を通して、XD プログラム所属研究室から展示された 30 以上の作品によって来場者に XD プログラムについて知ってもらえて、ゲストのトークセッションによりさらなるデザインの意味の理解を深められた。今後も継続的に XD Exhibition を開催して行くことで、

## 謝辞

本展示開催にあたってご協力頂いた XD プログラムの皆様、来場者の皆様に感謝したい。本研究は、2013 年度湘南藤沢学会「シンポジウム・研究ネットワークミーティング 基金」の支援の下に行なわれた。